

特定非営利活動法人
ポラリス



2018 年度事業報告
2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

目 次

設立～これまで	1
2018年度 主な取り組み	3
総務	4
自主事業 障害者就労継続支援B型事業所ポラリス	6
◎施設外就労	
◎園芸作業・ピカピカ清掃作業	7
「風の章ガーデンプロジェクト」	8
◎接客訓練（ピアサポーターなど）アート活動 所内の活動	9
◎介護予防・生涯学習・地域交流など	10
ポラリス×新地町 2つのプロジェクト	11
障害児者相談支援事業スタート！「相談支援室ポラリス」	12
新地町委託事業 新地町障がい児者相談支援事業	13
企画事業	
■被災地の障害者が素敵に生き、はたらく事を応援するプロジェクト	14
■ポラリスカフェ ～当事者と支援者の学び合いとつながりづくり～	17
■専門スタッフの育成	19
■心のケア事業	20
■専門分野での地域への貢献	
■実習・研修の受け入れ	
■活動についての紹介・報告（視察受け入れ）	
メディア掲載	21
応援ありがとう	23
組織概要	

設立～これまで

2015 年 5 月 ポラリス 設立

ポラリスとは（設立の趣旨）

我が国はこれまでにない少子高齢化人口減少社会となり、行政依存型の制度だけでは地域福祉を担うことが困難な時代となりました。そのため、日本の各種制度や施設は大きな転換期を迎えています。

山元町も、この課題は全国と同様であり、むしろ深刻です。高齢化に加え、町の人口の割合から見ても、東日本大震災で被災した方の支援が最重要課題であり、高齢者や被災者の皆さんが健全に暮らしていけるように、「公」と「民」が連携し、覚悟して取り組んでいかねばなりません。一方、障害者の支援については、これら最重要課題を前になかなか前に進まないのも実態としてあります。

東日本大震災で甚大な被害を受けたことにより、山元町はこれまで以上様々な地域福祉の課題があります。これら課題には民間の活力を借りるのも有効な手段かと考えられます。

このような現状と、今後の地域社会の課題を鑑み、私たちは、障害者支援を直接的・専門的に支援する NPO が、わが町山元町にも必要と考えます。また、全国的に福祉業界の人材不足が問題となっている今、それは山元町でも同様です。私たちは早急に障害者支援の人材を育成することに取り組まねばなりません。当事者にとっても地域にとっても魅力的な支援のあり方や施設づくりを全国の先進的実践地域に学び、そのことが障害者福祉に参加したい熱い思いの人材発掘にもつながると考えます。

これらの目的で、地域と共に、障害者支援を専門的に担当し、障害者支援が安定継続できることをミッションに、NPO 法に基づく NPO 法人格を取得し、特定非営利活動法人ポラリスを設立することとしました。

※設立申請に至るまでの経過

平成 27 年 2 月 27 日 15 時 30 分より発起人会を開き、設立の趣旨、定款、平成 27 年度及び平成 28 年度の事業計画および収支予算、設立当初の役員などについての案を審議しました。

平成 27 年 2 月 28 日 13 時より設立総会を開き、発起人より設立の趣旨、定款、平成 27 年度及び平成 28 年度の事業計画および収支予算、設立当初の役員などを提案し、審議の上決定しました。

ミッション

○障害者を支援するために必要な社会資源を山元町とその周辺地域につくるためのはたらきかけを行っていくこと。

○被災した過疎地の複雑で多様化した地域課題を解決するために、地域住民が主体的に考え、参加する NPO の活動についての共感を広め、持続可能な地域づくりをすすめること。

ビジョン

私たちは守られるべき存在と考えられていた障害者が地域再生の担い手として活躍し、福祉と産業がコラボした新たな地域福祉の創造、そして障害を持つ人も持たない人も、生きがいを持って輝きながら暮らしはたらく事ができる地域社会を創造し、魅力的な山元町の再生に貢献していきたいと考えます。



2015年度

- ・スタッフ4名体制でスタート（常勤 2・非常勤 2）
- ・「就労継続支援B型事業所ポラリス」をスタート。施設外就労とアート制作の仕事が始まった
- ・地域の世代や立場をこえた「対話と学びの場」企画実施
- ・「心のケアカフェ」を実施



2016年度

- ・非常勤1名を加え5名体制となる（常勤 2・非常勤 3）
- ・ポラリス「こう・ふく」アトリエの整備
- ・フレスコキクチ山下駅前店壁画「Happy やまのもと」デザイン制作
- ・「やまのものとアート展」開催



2017年度

- ・常勤1名を加え6名体制（常勤 3、非常勤 3）
- ・被災地で暮らす障害者の芸術文化体験旅行（東京1泊、劇団四季「ライオンキング」&国立西洋美術館）
- ・「学ぼう！山元の歴史」企画実施 ～ 冊子「山元ものがたり」制作

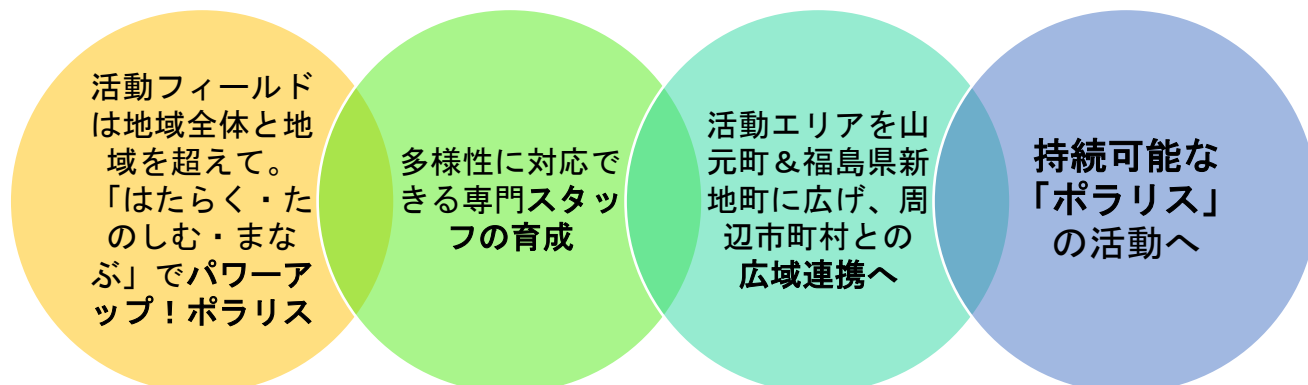


2018年度

- ・常勤2名を加え8名体制（常勤 5、非常勤 3）
- ・「相談支援室ポラリス」スタートし、活動エリアが宮城県山元町と福島県新地町となる
- ・当事者&支援者の対話と学びの場「ポラリスカフェ」を企画実施
- ・「風の章ガーデンプロジェクト」スタート

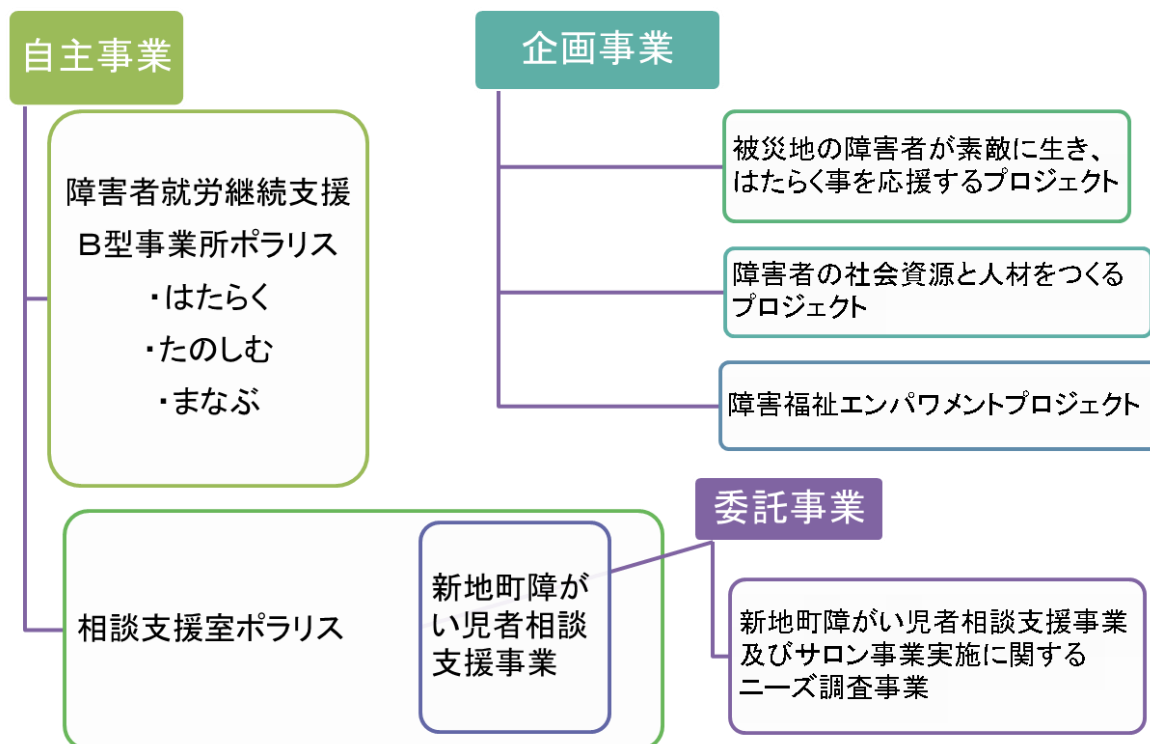
2018 年度 主な取り組み

.....



〔主な取り組み〕

- ① 障害者就労継続支援B型事業 ～すてきにはたらく・たのしむ・まなぶ～
- ② 「ポラリスカフェ」 ～当事者と支援者の学び合いとつながり作り～
- ③ 被災×過疎×地域創生×ケア
～被災地の障害者が素敵に生き、はたらく事を応援するプロジェクト～
- ④ スタッフの人材育成 ～現場支援の充実と次世代ソーシャルワーカー育成を目指す～
- ⑤ 心のケアが必要な人が気軽に相談できる場づくり ➡「相談支援室ポラリス」スタート



総 務

1. 会議等の業務

(1) 第3回通常総会の開催

- ◎2018年6月2日(土)
- 2017年度事業報告(案)・活動計算書(案)の承認
- 2018年度事業計画(案)・活動計算書(案)の承認
- 定款変更(案)一部修正し承認

(2) 理事会の開催

- ◎2018年5月1日(火)
- パソコン1台のリプレースについての承認
- Adobeソフトの再申請についての承認
- セキュリティーソフトの購入について の承認
- AI ロボット「アイボ」の購入についての承認

- ◎2018年5月29日(火)
- 2017年度事業報告(案)・活動計算書(案)の承認
- 2018年度事業計画(案)・活動予算書(案)の承認
- 定款変更(案)の承認

- ◎2018年6月28日(木)
- 常勤職員1名の正採用についての承認
- 寄付金を活用した視聴覚教材(テレビ、DVD プレイヤー) 購入についての承認
- 精神保健福祉士受験資格取得のための実習生の受け入れについての承認

- ◎2018年8月9日(木)
- 新地町相談援助業務を担うスタッフ採用及び雇用のあり方についての承認
- 職員の賞与支給についての承認
- 相談支援事業所の造設についての承認

- ◎2018年8月30日(木)
- 自動車贈与についての承認

- ◎2018年10月2日(火)
- 指定特定相談支援事業所の申請について の承認

- ◎2018年11月12日(月)
- 法人事業所(賃借物件)の土地・建物一式購入についての承認
- 相談支援事業及びNPO業務を担当する職員採用についての承認
- 新地町障がい児者相談支援事業委託契約の契約締結についての報告

- ◎2019年3月4日(月)
- 常勤職員1名の退職についての承認

- ◎2019年3月19日(火)
- 職員の期末手当(賞与)の支給と時期について の承認

(3) 監査

◎2018 年 5 月 29 日 (火)

- 2017 年度事業報告 (案)の監査、承認
- 2017 年度活動計算書、貸借対照表、財産目録の監査、承認

2. 会員に対する業務

- 正会員・一般会員の入会、継続、休会に伴う業務を行いました。
- 2017 年度事業報告・活動計算書及び 2018 年度事業計画・活動計算書を送付しました。
- 事業の案内や報告の資料を随時、送付しました。

3. 経理などの業務

- 資金管理として、現預金などの日常の管理状況を明確にしました。
- 税務に関する業務として、源泉徴収税等の税務関連の業務を行いました。
- 石田秀男税理士事務所に税務その他について業務を委託しました。

4. 労務管理などの業務

- 法人に関連する人事労務管理、労働保険や社会保険関係の手続きに関する書類作成・届出、法改正および助成金に関する情報提供などの業務について、社会保険労務士法人プロゲートに委託しました。

5. 総務関連などの業務

- 業務運営に必要な届出業務を行いました。
- NPO 法人としての宮城県への 2017 年度事業報告・活動計算書を提出しました。
- 医療法人松村クリニックからの法人事業所の土地及び建物の譲渡に関して、その手続きを司法書士庄司勉事務所に委託しました。
- Adobe ソフトの再申請について
- セキュリティソフトの購入について

6. 広報などの業務

- ウェブサイト、フェイスブックを活用した広報活動を行いました。
- ポラリス年次報告書、その他広報に関するちらしを作成し、広報活動を行いました。

自主事業

障害者就労継続支援B型事業ポラリス

1. 事業所名 就労継続支援B型事業所ポラリス
2. 事業開始年月日 平成27年8月1日
3. 利用者定員 20名
4. 従業員数 管理者1名（相談支援事業所管理者と兼務）
サービス管理責任者1名
職業指導員 1名（常勤専従）
生活指導員 3名（非常勤）
目標工賃達成指導員 1名（常勤専従）

5. 通所状況

	開所日数 (日)	登録者数 (名)	のべ利用者数 (名)	1日平均 利用者数 (名)
2015年度	174	16	1,438	8.3
2016年度	291	22	3,006	10.3
2017年度	278	22	3,208	11.5
2018年度	284	23	3,570	12.5

	登録者数 (名)	割合 (%)
山元町	14	61
亘理町	4	17
柴田町	1	4
岩沼市	2	9
新地町	2	9

6. 活動状況

◎施設外就労（農福連携・福福連携・観福連携・その他委託業務）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
農福 連携	(株)GRA ミガキイチゴワールド 清掃・箱折り、他											
										(株)ごえん 箱折り・いちご選別、他		
福福 連携	デイスサービス御園 交流&窓ふき、他				特別養護老人ホーム みやま荘 窓ふき、他							
観福 連携	まちづくり山元 山元スタンプラリー回収 データ入力											スタンプラ リー回収
企業 支援	フレスコ(株) ハッピーエコプラザ:資源物回収受付など											
	花の店しなほり 生花の搬入・搬出											

町内外から通所しているメンバー（就労B利用者、現在23名登録）は、地域の様々な団体や企業との「農福連携」・「福福連携」・「観福連携」による施設外就労に取り組んでいます。

今年度は新たに、一般社団法人まちづくり山元が主催する「やまもとスタンプラリー」のアンケート回収とデータ入力の仕事を受託し、やりがいを持っていきいきと取り組み、一歩ずつ力をつけています。

また、8月には、3年余りの就労のためのトレーニングを経て、1名が地域で働き始めています。

ごえん 箱折り作業



GRA 清掃作業



みヤマ荘 窓ふき



ハッピーエコプラザ



GRA 清掃作業



◎園芸作業・ピカピカ清掃作業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園芸			松村クリニック 花壇づくり			みやま荘 花壇づくり		松村 クリニック花 壇づくり				
				風の章ガーデンプロジェクト 打ち合わせ			風の章ガーデンプロジェクト					
	アートなプランター 設置場所の巡回(水やり・手入れ)											
地域連携 地域交流			稱名寺 掃除	民家 片付け		鷲峰企画 出張カフェ			稱名寺 掃除			
ピカピカ 清掃作業				山下駅 みやま荘	山下駅 坂元駅	合戦原学堂 櫓ごえん	山下駅	フレスコ壁 画前 GRAハウス	合戦原学堂	山下駅 合戦原学堂	山下駅	山下駅

園芸作業

震災後に再建された地域みんなが使う施設に、ガーデナー 向井康治さんのご指導をいただき、アートな寄せ植えプランターを設置し、定期的に巡回して手入れを行いました。

ピカピカ清掃作業

地域の皆さんが使う場所をピカピカにする清掃作業を行いました。地域をきれいにするお手伝いをして、地域貢献への意識を高めました。

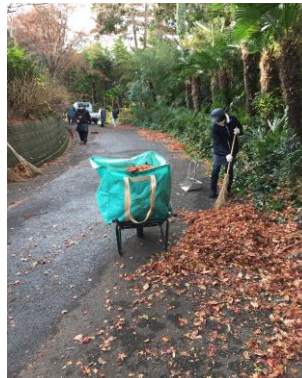
松村クリニックの花壇づくり



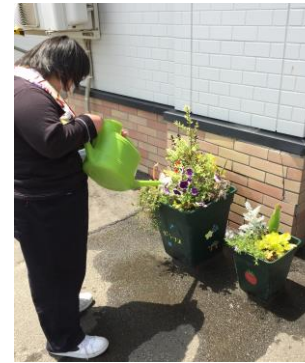
山下駅前のピカピカ活動



称名寺の庭掃除



園芸（水やり）



■風の章ガーデンプロジェクト

「エルフの森」見学



植栽作業



ポラリスの園芸の仕事を応援してくださる医師 松村 吉一様から、松村クリニックの花壇づくりのお仕事に加え、桜塚地区に開設されたサービス付き高齢者住宅「風の章」に庭を作る仕事（「風の章ガーデンプロジェクト」）をいただきました。

「地域の皆さんに楽しんでいただける森をつくろう！」と向井康治さんと町内でハーブ園をされている「エルフの森」岩佐和子さんにご指導をいただき、樹木やハーブの勉強をしながらいきいきと作業に取り組んでいます。

土づくり



名札



アトリエでは樹木の名札づくり



◎接客訓練（ピアサポーターなど）アート活動 所内の活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	作品制作・展示・販売・ワークショップ・アトリエ案内											
アートな仕事	見晴 作品展示(夏)			見晴 作品展示(秋)			見晴 作品展示(冬)			見晴 作品展示(春)		
				みやま荘 交流		ひだまり マルシェ	アートな秋の 交流会	ひだまり マルシェ	笑顔まつり 展示			Music mail ライブ
	大友個展 百獣 画録				東北障がい 者公募展 展 示		映画「愛のレ シビ〜卵ラン ド〜」	町民文化祭 展示		じゅーぴたっ 展示	まるしん 展示	
新地サロン 山元サロン	ピアサポーター業務（接客・話し相手）											
所内	事務補助・パソコン入力											
	文書発送のためのあて名書き・封入作業											
	所内清掃・洗たく干し・みそ汁作り・接客											

接客訓練

ポラリスメンバーには、茶道を学んでいる人もいて、町内のイベントやポラリス主催の地域交流で、抹茶やコーヒーをお出しする事を通して接客の練習と、対人的に自信をつけていく練習に取り組みました。

新地町での「しんちまち☆こぐまサロン」ではピアサポーターとして、新地町の方々にお茶をお出ししたり、対話や傾聴もチャレンジすることができました。新たな仲間との出会いやピアサポーターを経験することで、自己有用感を高めることにつながっています。

アート活動

アトリエを中心としたアート活動では、描画、造形、ししゅうなどに取り組み、様々な作品を創作しています。3年目となる亘理町「麺とご飯の店見晴」での季節ごと（年4回）作品展示のお仕事は、展示されることを目指してアーティストたちの創作意欲につながっています。

4月には大友浩一郎さんが岩沼市で個展「百獣画録」を企画開催。7月には、町内の特別養護老人ホーム「みやま荘」でアートの交流ができました。8月に開催された仙台メディアテーク「ART To You 展」では、2名の方が入選され、みんなで東北各地から選ばれた作品を鑑賞に行ってきました。また、今年度は山元町文化協会に「ポラリス『こう・ふく』アトリエの会」として入会し、11月に町民文化祭では町民の皆さんと一緒に作品展示をさせていただきました。

ポラリス主催の「アート&カフェ」では、9月と11月に「ひだまりマルシェ」、3月の「Music mail」ミュージカルワークショップ&音楽ライブでは作品展示とカフェで地域の皆さんと楽しく交流できました。

1月は丸森町「じゅーぴたっ展」に作品を展示させていただきました。2月には仙台市長町「八百物屋まるしん」店舗をアートで装飾するお仕事が始まりました。

所内での活動

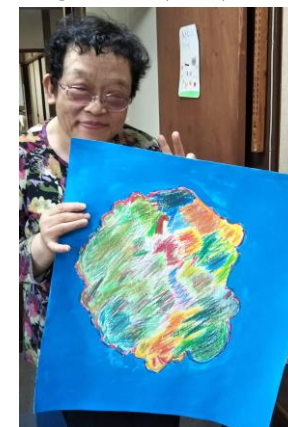
生活訓練、事務補助業務を行いました。当事者の立場に立って、ポラリスカフェの企画や資料作りに参加しました。施設内の掃除、洗濯物干しは自立のために繰り返し練習し、また寒い季節は、みそ汁やスープづくりをして、お昼にみんなで食べました。

ポラリス会員の皆様や関係機関へのお手紙をお出しする際には、あて名書きや封入作業もお仕事として取り組みました。

造形（はにわ）



まるしん「ラフランス」



所内活動



◎介護予防・生涯学習・地域交流など

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護予防 健康管理 軽運動	ウォーキング ラジオ体操			エクササイズ (指導 劇団短距離男道ミサイル)								
		調理 実習			調理 実習		調理 実習		口腔 ケア	調理 実習		調理 実習
ソーシャル スキル	権利 擁護		福祉 サービス		金銭 管理		災害に 備える		住む		はたらく	
生涯学習			茶道	朗読 (指導 スローバックス)								
外出支援 芸術鑑賞	お花見		楽天 観戦	八木山 動物園	Art to You展			楽天 観戦		初詣		
	大友 「百獣 画録」						映画 「愛の レシピ」	四季 ミュー ジカル			ひだまり コンサート	Music mail ライブ
地域交流 イベント			茶室F 手伝い	エルフ の森 見学		ひだまり マルシェ		ひだまり マルシェ	クリス マス会			
			ジャガイモ 堀			サツマ イモ堀		町民 文化祭	笑顔 まつり			中学 3年生 町紹介



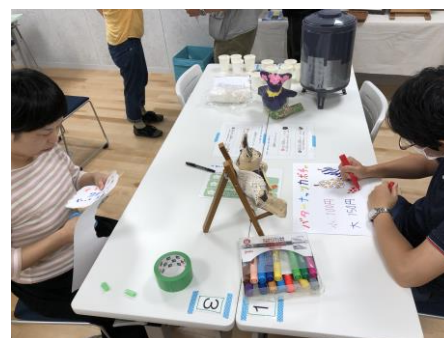
■アート&学び&カフェによる世代・立場をこえたコミュニティワーク

三菱重工 みやぎ・ふくしまミニファンド

(実施期間：2018年9月1日～ 2018年12月31日)

山元町のつばめの杜ひだまりホールを会場に、下記の活動を実施し、他の団体や行政町の生涯学習課と連携しながら、町の新たな交流イベントにて、世代・立場をこえたコミュニティワークを大に行い、当団体に所属する障害者やその家族も楽しく社会参加する事ができました。

2018年9月
駅前壁画「Happy やまのもと」をベースにした山元の魅力を発信するアートパネルの制作及び展示コーナーの企画・展示。



2018年9月16日(日)

「アート&コミュニティカフェ@ひだまりマルシェ」

2018年11月24日(土)

「ポラリスアート&コミュニティカフェ～ひだまりマルシェ&やまもと楽校～」

ポラリス × 新地町

2つのプロジェクト

活動エリアを広げて

- ・ 社会資源をつくる
- ・ 専門スタッフの育成
- ・ この地域の障害福祉を一步進める



山元町
&
新地町

ポラリス×新地町 障害者の社会資源と人材をつくるプロジェクト

東日本大震災現地 NPO 応援基金 [一般助成]

(実施期間：2018 年 10 月～2019 年 9 月)

初期の障害者支援の場づくり「しんちまち☆こぐまサロン」を行うための準備（ちらし作成など）をすすめました。

インターン研修、視察、研修受講、講師招聘などで相談援助の専門スタッフ育成に取り組みました。

各スタッフのスキルアップとチームワークを強化し、被災した過疎地での持続可能な障害者支援活動を目指し取り組みました。

ポラリス×新地町 障害福祉エンパワメントプロジェクト

「5」のつく日。JCB で復興支援 [フィランソロピーバンク]

(実施期間：2018 年 10 月～2020 年 3 月)

ポラリスメンバーがピアサポーターとして「しんちまち☆こぐまサロン」に参加しました。(12月～3月、のべ93名)

サロンの活動に必要なお茶セットや画材などを購入することができました。

ポラリスメンバーと新地町の方との交流会（クリスマス会など）を企画実施しました。

障害児者相談支援事業 スタート！

相談支援室 ポラリス

- | | |
|------------|---|
| 1. 事業所名 | 相談支援室ポラリス |
| 2. 事業開始年月日 | 平成 30 年 12 月 1 日
指定特定相談・指定障害児相談支援事業
新地町障がい児者相談支援事業（平成 30 年 11 月 5 日～） |
| 3. 従業員数 | 管理者・相談支援専門員 1 名
相談員 1 名（常勤 専従） |

相談支援室ポラリスの立ち上げと整備

当団体の活動拠点は山元町ですが、その活動エリアを山元町と、山元町に隣接する福島県新地町に広げ、被災した過疎地域の「弱者支援」「心身のケア」「地域創生」に目を向け、障害者が「素敵に生きて、はたらく」ための支援を行いながら、新たに障害者の社会資源と人材を育成することを進めています。

山元町で、これまで築いてきた障害者支援をはじめとする活動を定着、成熟させながら、新たに加わったスタッフが、障害者支援に関するケアワークからコミュニティワークまでのスキルを学び、新地町での相談援助や居場所づくりに挑戦し、更にポラリススタッフ全員が新地町での新たな資源づくりとスタッフの育成に関わりながら、さらなる意識向上とスキルアップ、そして団体全体のチームワークの強化を目指しています。

新地町は被災によって、これまで以上マンパワーとノウハウが不足している現状にあります。町内に障害者のサービス資源が極めて少ない状況であるため、当団体は、山元町で3年間取り組んできたことを活かしながら、新地町の当事者や家族が町内で気軽に相談、仲間づくりができる居場所づくりに取り組み、障害者に対する理解を様々な形で地域に広めることに貢献したいと考えています。

これらを経て、被災した過疎地である山元町と新地町の障害者と支援者それぞれのエンパワメントと、当団体が有意義な経験を積み、地域での持続可能な活動を進めることに取り組み始めました。



相談支援室ポラリスを造設しました

しょうじょう じにき しょうじょうしるふんじょう

障がい児者 相談支援事業

～気になることなんでも…相談してみませんか？～

障がいや
病気の理解

障がい・特性の理解や
病気に関すること

福祉サービスの
利用

利用についての情報提供
手続きなどのお手伝い

障がい児相談

就学時の悩みや
卒業後の進路のこと
子育てに関すること

住まい

1人暮らしや
これからの暮らし方
住まいについて

居間の活動

「はたらきたい」
「遊びたい」
「学びたい」
「友達をつくりたい」

権利擁護

判断力が低下している方の
権利を守ることにについて

この冊子も
気になることなんでも
相談支援の専門スタッフが対応します。
(精神保健福祉士・介護福祉士など)

特定非営利活動法人ポラリス
相談支援室 ポラリス

電話：0223-36-7413

相談受付：月～金 9:00～17:00
(休日：12/29～1/3 休く)

相談は無料です。
まずはお電話
ください。

〒985-0801 山元町新地町
〒985-0801 山元町新地町 73-64
polaris-yamamoto.com

※障がい、非営利活動法人、相談支援事業の認定を受けています。

(新地町委託事業)

新地町 障がい児者 相談支援事業

障がい児者相談支援事業

- 福祉サービスの利用援助
- 社会資源を活用するための支援
- 社会生活を高めるための支援
- ピアカウンセリング
- 権利擁護のために必要な援助
- 専門機関の紹介
- 自立支援協議会との連携
- 保健・医療・福祉との連携体制の整備

基本相談 217 件 / 計画相談 97 件

新地町 障がい児者の相談支援事業

しんちまちこぐまサロン

「まってるよ」

新地町にお住まいの方、障がいや発達、心のケアについて相談したいご本人、ご家族、支援者のためのサロンです。

場所：新地町保健センター（相談室など）
（詳細の地図をご案内いたします）

日時

対象	実施日	時間
平成30年	12月4日（水）、18日（水）	午前10:00-12:00
	1月15日（水）、29日（水）	午後13:00-14:45
平成31年	2月7日（水）、14日（水）、20日（水）	
	3月12日（水）、19日（水）、26日（水）	

内容

個別相談

「こんなことはありませんか？」

- 1人で悩んでいる
- 子供のことが心配だが誰にも言えない
- 発達について相談したい
- 同じ悩みを抱えた人とお話したい
- 最新のまき方や申請について知りたい
- 相談者・子どもの両方の状況を教えてほしい

申し込み不要（相談にお越しの方に予約可です）

集いの場

- ★自宅から一歩出て気分転換しましょう
- ★アート活動など、楽しいことができます

お話し相手、おしゃべり、相談（おしゃべり）、おしゃべり、おしゃべり

スタッフ：相談支援専門員（「精神保健福祉士」「介護福祉士」）と、アート専門スタッフ
ピアサポーター（山元町のボタリスで活動しているメンバーたちと交流もあります）

【主催】 新地町 健康福祉課（0244-62-2931）
【実施】 特定非営利活動法人ボタリス（0223-36-7413）

障がい児者サロン事業

開催日：2018年12月～2019年3月まで 計10日

場 所：新地町保健センター

内 容：○個別相談 24人
○サロン活動 27人
○ピアサポーター

(新地町委託事業)

平成30年度新地町 障がい児者 相談支援事業 及びサロン事業 実施に関する ニーズ調査事業

ニーズ調査の目的

新地町内の障がい児者等の相談支援やサロン利用に対するニーズ調査を実施することにより、障がい児者や介護者がどのようなニーズや課題を抱えているかを具体的に把握し、これからの福祉サービスや社会資源のあり方について検討する資料とすることを目的として実施しました。

調査の対象者

平成30年10月31日現在、新地町内に居住する障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）を所持している方、その他399人

「相談支援の必要性について」（回答より一部抜粋）

相談支援サービスを「利用していない」「相談支援を知らない」と回答された方を合わせると70人（67%）となっています。障がい福祉サービスや相談支援事業についての情報提供、相談支援の必要性がある方々であると考えられます。現在抱えている悩みや課題で多かったのは、「自分の健康状態」「将来の生活」「自分の経済状況」「家族の健康状態」「緊急時の対応」「自分の生きがいや趣味のこと」「家族・親族との関係」「自分の就学・就労」の順となっています。実際に相談したい内容としては、「福祉サービスの情報提供」「困りごとの相談」「健康管理への助言」となっており、サービスを利用するための計画相談のみならず、そこにたどり着くまでの様々な支援（基本相談等）が必要となっています。また、相談支援を利用するための方法については、「電話相談」「相談支援事業所への来所」「訪問」「新地サロンでの個別相談」を選択する質問を投げかけましたが、結果は60人（58%）の回答が得られ、様々な方法でアクセスしたいという結果になっています。

「しんちまち こぐまサロン」については、日中の居場所の一つとして「リフレッシュ」や「ピアサポート」の場としての利用希望が多くなっています。「軽運動・エクササイズ」「おしゃべり」「自分に必要な技術訓練」「調理」「刺しゅう」「書道・書写」「お絵描き」「造形」の順の回答となっています。

企画事業

■被災地の障害者が素敵に生き、はたらく事を応援するプロジェクト

東日本大震災復興支援 JT NPO 応援プロジェクト
(実施期間： 2018 年 7 月～2019 年 6 月)

被災地で暮らす障害者が安心して健やかに生きていく事と、素敵にはたらく事を、地域の様々な立場の方や専門家の協力を得ながら進め、これからも継続して地域で暮らし続けるために必要な障害者の経験作りの応援を、1 年をかけて実施し、定着化を目指しました。

被災障害者が健やかに地域で生きる支援

Physical * 身体のケア

軽運動による
介護予防



食育による
肥満や糖尿病
予防

口腔ケア



ポラリス体操をつくろう！

劇団短距離男道ミサイル「マチョムキン体操」をポラリス流にアレンジ

講師：劇団短距離男道ミサイル
俳優 小濱昭博さん

実施：月 1 回

場所：つばめの杜ひだまりホール
リハーサル室

口腔ケア

「口腔ケアのおはなし」と
「プロのスタッフによる歯磨き体験」

講師：PMJ 歯科 黒瀬真由美先生
他 8 名（歯科医師・歯科衛生士）

実施日：12 月 23 日（日）

場所：つばめの杜ひだまりホール
参加者：38 名

調理実習 & 食についての勉強

「毎日のちょうどよい食事を学ぼう」

指導：地域の調理師・ボランティア

実施：5 回

参加者：のべ 104 名

主な献立：「ロコモコプレート」「冷やし中華」「山形風芋煮」「おでん」「混ぜご飯」「ニラ玉」「あさりご飯」など



被災障害者が健やかに地域で生きる支援

Mental * 心のケア



「相談支援室ポラリス」

相談援助
心のケア支援



「語り・朗読タイム」

文化・芸術による
生きる力の取戻し



心のケア

「心のケア講座～対人支援初級編」

テーマ：「対人支援の勘どころ」

講師：精神科医師 福地成先生

実施日：10月16日（火）

場所：ポラリス

参加者：15名

新人スタッフ2名を迎え、人材育成の強化を目的に専門医師を招聘し実施しました。人とどう接するのか、自分自身と向き合う姿勢、面接の基本形、開いた質問・閉じた質問、まとめ。支援者側が一人で考えすぎないことが最も大切という助言をいただきました。平時から地域のインフォーマルな資源開発の必要性を学びました。

朗読

「スローバックス店長の朗読会」
～素敵な本を朗読してみながら、自分の
思いを言葉にしてみよう～

講師：スローバックス佐藤浩昭さん

実施：月1回

場所：つばめの杜ひだまりホール、他

参加者：のべ116名

映画鑑賞

一人28役の映画「愛のレシピ ～卵
ランド」鑑賞&主演女優 和泉妃夏さん
との交流

実施日：10月27日（土）

場所：つばめの杜ひだまりホール
文化研修ホール

参加者：35名

ミュージカルワークショップ&音楽ライブ

出演者：『Music mail』

高島田 薫さん、山本 佳祐さん
加瀬田 聡さん

実施日：3月2日（土）

場所：つばめの杜ひだまりホール
文化研修ホール

内容：（午前）「ライオンキング」
ミュージカルワークショップ
（午後）世界の音楽ライブ



被災障害者が安心して地域で生きる支援

Social

生活費の
自己管理
の支援



地域でのトラブル
福祉サービス・制度
勉強会開催



引率
付き添い
支援



障害年金で一人暮らしをしている方、これから一人暮らしが想定される方を重点的に、今だけでなく将来にも目を向けて、その方の能力に合わせて、小遣い帳や家計簿のつけ方を練習しています。支出した記録を忘れず保管することも継続して取り組むようになり、主体的な意識が高まりつつあります。

一人では難しい方の通院同行や福祉サービスの手続きの付き添いで、病気の悪化を防ぎ、医師の指導内容をスタッフが共有して日々必要な助言や生活支援を進め、スタッフの支援スキルの習得にも役立っています。

被災障害者が地域で素敵にはたらく支援

Good Job

地域と心の
ピカピカ活動



アート&カ
フェ

地域とのつながりが生まれ、対人的な意識や社会性のスキルの向上に大いに役立っています。また、その活動がきっかけで高齢者施設での定期的な窓拭きの仕事、庭造りの仕事につながりました。

■ポラリスカフェ ～当事者と支援者の学び合いとつながり作り～

当事者や家族をはじめ、地域の様々な関係機関や団体、個人の皆様にもお気軽に参加していただき、立場を超えた“当事者&支援者の対話と学びの場”を持ち、障害者福祉や地域生活について学びました。このプロセスを経て、当事者が、日々の生活と将来について、ひとりひとり、主体的に考える“はじまり”となりました。

開催日 参加人数	テーマ 講師	学んだこと
5月22日 (火) 32名	「権利擁護について」 宮城県社会福祉協議会 阿部勝美さん	●自分で決めるという事は結構たいへんなことです。自分で決められるよう、誰かに相談したり、学び、気づいたり、自分で努力することが必要だと学んだ。 ●自己決定ができるためには、体力をつけて、心身に栄養をつけておくことが必要だと学んだ。
7月24日 (火) 39名	「障害者福祉サービスを知ろう」 宮城県肢体不自由児協会 常務理事 末田耕司さん 山元町保健福祉課 障害福祉担当 石川健太さん	●障害者福祉サービスという制度について知り、自分にとって、今、そして将来、必要なサービスがあるか考える時間となった。 ●一度には覚えられないことだと感じたが、悩みがあった時は相談支援の人や町役場の人に相談をすると良いという事がわかった。
9月25日 (火) 37名	「お金（生活費・社会保障・税金）」 社会保険労務士法人プロゲート 代表 沼口郁子さん（社会保険労務士・行政書士）	●限りある生活費を有効に使うために、お金は「必要なこと・もの」に使うということを学んだ。 ●障害年金を受給している方の社会保険や税金の減免などを知り、手続きができるということを学んだ。
11月15日 (木) 38名	「災害に備える」 山元町防災拠点・山下地域交流センター館長 岩佐 勝さん	●岩佐館長の案内で山元町防災拠点施設内を見学して町の防災施設について知ることが出来た。 ●岩佐館長のお話「災害時に備えて、日頃から準備しておくこと」から、これから防災のためには、「想定外をなくす日常の努力」「紙一重でも助かる工夫」「防災トレーニング」の3つに取り組むことが必要と学んだ。
1月22日 (火) 37名	「住む」ことについて ～「一人暮らし」をするために必要なこと ポラリス 代表理事 田口ひろみ（精神保健福祉士 相談支援専門員） ポラリスメンバー代表 牧稔さん、渡辺克夫さん	●「住む」ことをお手伝いするサービスについて学んだ。 ●一人暮らしをするために最低限必要な5つのこと ①SOSをだれかに伝えられること ②1週間分のお金の管理を自分で出来ること ③かいものができること ④近所づきあいは大事とわかること ⑤一人暮らしを楽しめること ●一人暮らしのメンバーお二人の生活について聞いて将来自分または子供が一人暮らしとか、グループホームかなど、自分事として考えることができた。



まとめ（アンケート）「今後、ポラリスカフェでまなびたいこと」

（当事者）

- 療育手帳の使い方
- 社会に許されるための方法が知りたいです。中身のない自分がおしゃれなどしてよいのか聞きたい。
- 薬のこと（例えば、睡眠薬を使わなくても自然眠れる方法とか）
- お金の大切さをもっと知りたい。
- 今、世界で起こっている社会問題を簡単にわかりやすく。
- 障害者のために必要な情報を教えてもらいたい。
- 人との付き合い方。親や友達と仲良くする勉強をしたい。
- 病院、医師の選び方（選び間違うと何年も人生が無駄になる。）
- 就職について。就職が出来なくても収入を得られるか？
- いろいろまだまだ自分のわからないことがあるので、みなさんの意見を聞いてテーマがあればまたやりたいです。

（ご家族）

- 今後も、このようなテーマでの勉強会を期待する。
- 息子との会話の仕方、話題、心のやり取り、共感・共有できる話し方、希望やヒントを引き出し、ストレスのない生活の方法等教えて欲しい。
- 親自体の勉強、統合失調症だけでなく、精神障害者のケアの勉強がしたい。
- 丁寧に教えていただき、感動した。わかることで、希望が見えてきた感じがした。
- グループホームを作るにはどうすればよいのか、希望する人がいるのか？今後もっと話し合いたい。
- 保護者同士の交流に、テーマなしのお茶会もたまにはいいかなと思う。

■専門スタッフの育成 ～現場支援の充実とソーシャルワーカー育成を目指す～

地域に暮らす障害者などの社会的に弱い立場の人が安心して暮らせる地域を創造していくために、基盤整備の次のステップとして、以下のような専門スタッフの育成を目的に様々な研修で学びました。

- 相談支援業務を担える専門職員の育成
- サービス管理責任者の育成
- NPO法人事務局を担える職員育成
- 福祉サービスに関わる事務を担える職員の育成



研修実施状況

実施月日	研修内容	実施者(場所)
6月8日	NPO/NGOの組織基盤強化のためのワークショップ研修	みやぎNPOプラザ
6月18日	平成30年度宮城県社会福祉施設 新任研修	宮城県 宮城県社会福祉協議会
6月20日・21日	精神保健福祉士実習指導者講習	高崎福祉医療カレッジ
6月29日	介護予防後援会「座り過ぎ」を防ぎ、いきいき元気にせいかつするためのヒントを知ろう	山元町
7月14日	SHIROLab × 6LABO 障害のある人の表現の魅力を引き出すデザインのカ	エイブル・アート・ジャパン
7月17日	平成30年度宮城県社会福祉施設 事務担当職員研修	宮城県社会福祉協議会
8月～9月	相談支援専門員研修	宮城県
9月10日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県 宮城県社会福祉協議会
10月16日	「対人支援の勘どころ」(福地 成先生)	ポラリス
10月19日	「大人の発達障害について ～活躍できる職場づくりを考える」	県南障害者就業・生活センター「コノコノ」
10月～3月	相談支援事業所インターン研修	社会福祉法人ありのまま舎
10月～12月	サービス管理責任者研修	宮城県
11月2日	山元町医療・介護連携推進連絡会	山元町
11月2日	福祉用具セミナー ～生活を豊かにする道具をもっと身近に～	宮城県リハビリテーション支援センター
11月8日	「障がいを知ろう」	宮城県手をつなぐ育成会
11月13日	発達障害者支援セミナーinみやぎ マイらいふ・マイぷらん～生きる力を身につける～	宮城県、ほか
11月23日	市民セクター全国会議セクター会議2018「市民社会の広がりと新たな挑戦」	日本NPOセンター
12月1日	自閉症研修2018 ～あらためて基本に立ち返って考える～ 強度行動障害	アスム療育・研修センター
12月6日	SOUP研修「展示の開き方に関する研修 伝えるための1.2.3 作品展示の1.2.3」	エイブル・アート・ジャパン
1月9日	SOUP研修「イベントで使う屋台の組立方を知る」	エイブル・アート・ジャパン
11月10日	高次脳機能障害研修事業基礎講座研修 および事例検討会in宮城	宮城県リハビリテーション支援センター
12月13日	障害者ケア向上研修会「高齢知的障害者への支援の現状と課題」	宮城県
1月17日	障がいのある人の芸術文化活動と文化政策・福祉政策の今	エイブル・アート・ジャパン
1月25日	広域エリア別指導者研修会「人を動かすリーダーとは？」	宮城県商工会仙南ブロック連絡協議会
1月25日	平成30年度精神障害者相談支援研修会(仙台圏域)	宮城県
1月28日	白石陽光園 生活介護施設(入所・通所)	エイブル・アート・ジャパン ポラリス
1月30日	対話×学び合い “社会的インパクト評価”を評価する	地星社
2月2日	ケアとテクノロジー ～生と死の現場が見つめる技術のありよう～	住友生命福祉文化財団&たんぽぽの家
2月3日・6日	AAJ「見本市」展示 これが作品展示の裏舞台！搬入の部/搬出の部	エイブル・アート・ジャパン
2月5日	基幹相談支援センター研修 ～創ろう、育てよう、広げよう～	宮城・仙台障害者相談支援従事者協会
3月8日	岩沼市障害児者地域自立協ネットワーク会議・研修会	岩沼市
3月28日	社会福祉法人 祥心会 生活介護事業所「よつば」・アートギャラリー「くらら」視察	ポラリス
3月28日	宮城県援護寮 就労・生活支援センターLink 指定協働生活援助事業所さくらの視察研修	ポラリス

■「心のケア」事業 ～心のケアが必要な人が気軽に相談できる場づくり～

「心のケア講座～対人支援初級編」

テーマ：「対人支援の勘どころ」
講 師：精神科医師 福地成先生
実施日：10月16日（火）
場 所：ボラリス
参加者：15名

2018年6月

AIロボット（アイボ）導入
（名前：「ロック」ちゃん）

障害者や心のケアが必要な方、地域交流の中での「ロボットセラビー」を実施しています。



新人スタッフ2名を迎え、人材育成の強化を目的に専門医師を招聘し実施しました。人とどう接するのか、自分自身と向き合う姿勢、面接の基本形、開いた質問・閉じた質問、まとめ。支援者側が一人で考えすぎないことが最も大切という助言をいただきました。平時から地域のインフォーマルな資源開発の必要性を学びました。

■専門分野での地域への貢献

《精神保健福祉士実習施設の指定施設になりました》

山元町、及び周辺地域で活躍する精神保健福祉士の養成をバックアップすることを目的に2018年6月に、その要件を満たすための「精神保健福祉士実習指導者」講習会課程を修了しました。1名の方が7月に実習され、見事、精神保健福祉士の国家資格に合格されました。

■実習・研修 受け入れ

催 名	実習期間	実習者数
山元支援学校職場実習	6/11 ～ 6/15	1名
	6/25 ～ 6/29	1名
	11/12 ～ 11/16	2名
	11/19 ～ 11/22	1名
精神保健福祉士資格取得実習	7/2 ～ 7/11	1名
【SOUPの研修2018】芸術文化活動の支援方法に関する研修	10/25	8名

■活動についての紹介・報告（視察受け入れ）

名 前	来所日	来所人数
新地町 健康福祉課	4/12	3名
新地町 議会事務局	4/26	10名
エイブル・アート・ジャパン	7/10	4名
モナッシュ大学研究者 ペピ ロナルズさん	10/8	2名
社会福祉法人 祥心会	10/18	2名
社会福祉法人 祥心会	10/29	2名
イノベーション・デザイン& テクノロジーズ株式会社 金子篤志 さん	1/22	1名

2018年12月8日 河北新報

地域交流広げる場に

山元・NPO法人高齢者施設の庭手入れ

山元町で障害のある人の就労支援などを行っているNPO法人ボラリスが、同町桜塚地区にあるサービス付き高齢者住宅「風の章」の庭の整備を受注した。造園家の男性らがアドバイスし、ボラリスの通所者が手入れしている。施設のオーナーは、地域で活動するNPOに仕事を任せることで庭が新たな交流の場になることを願う。

「鳥っこ、実を食べに来るね」。11月中旬、ボラリスの利用者10人が笑顔で施設の庭木に水をやった。今後、樹木の名札作りや草取りも行う予定だ。

約800平方メートルの庭には今秋、ヒメリンゴ、ビルベリーなど実がなる樹木を中心に約90本が植えられた。町特産のリンゴとイチゴにちなみ、ボラリスの活動をサポートする埼玉県の造園家向井康治さん(60)が利用者らと話し合っ

て選んだ。同町のハーブ専門家岩佐和子さん(68)が見立てたラベンダーなど約25種類も一角を彩る。

多彩な植物で住民癒やす

ボラリスは2015年度から地域活動の一環で、植物を植えたプランターをバス停や集会所に置くなどしている。17年度には東日本大震災後に町でボランティアを行う向井



施設の庭木に水をやるボラリスのメンバー

さんを講師に迎え、多彩な植物を扱うようになった。活動が風の章のオーナーで同町の医師松村吉一さん(69)の目に留まり、施設の庭の整備がボラリスに任せられた。

利用者の加納寛子さん(35)は「庭造りをみんなでやれてうれしい」と笑顔。桜塚地区は被災者の集団移転先で、ボラリスの田口ひろみ代表(55)は「住民の皆さんからもよく声を掛けていただいている。コミュニケーション形成に貢献できればうれしい」と話す。

松村さんは「ボラリスに携わってもらうことで、ここが住民の交流の場になればと思う。気軽に散歩に来てもらいたい」と話す。

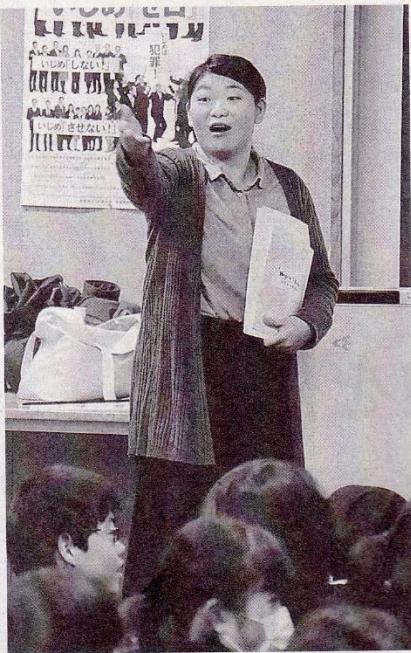
山元の魅力後輩に伝授

自宅被災のNPO職員 山下、坂元両中で授業

芸術活動や町づくりなどを通じて障害者支援を手掛ける山元町のNPO法人ボラリスの職員らが歴史や文化など町の魅力を伝える特別授業を、同町の山下、坂元両中学校で実施した。山下卒業生のスタッフも「東日本大震災で人口が減ってしまった町を元気にしたい」との思いを胸に参加した。

両校での授業は、ボラリスが卒業生のスタッフ岩佐風美香(23)が3年生81人を対象に、冊子を基にしたクイズを出し、町を元気にするための小冊子をまとめたことをきっかけに始まった。山下中では今月7日に

今年の授業があり、ボラリス代表の田口ひろみさん(55)と山下元地区を治めた大條家(おほじょう)に関する



生徒たちに町の魅力を伝える岩佐さん

「人口減った町元気に」

ることなど町の歴史を紹介。イチゴやリンゴ、ブドウなど多彩な地場産品に関する質問もした。

生徒たちは活発に手を挙げて答えた。ボラリスが作った冊子は生徒一人一人に贈られた。

岩佐さんは震災時、中学3年だった。8年前の3月11日、卒業式終了後に町沿岸部の笠野地区の自宅が地震に遭った。津波からは逃れたが、自宅は2階まで浸水。町外のみなし仮設住宅などに4年間住み、15年にリフォームした家に戻った。自宅周辺は災害危険区域に指定されている。

岩佐さんは「震災で人口が減り、沿岸部の風景は大きく変わってしまったが、私たちに誇りを持って思い出す場所。生徒たちが町のことを好きになり、地元の魅力を大勢に伝えてくれたらうれしい」と話した。

応援ありがとう

(特非) アートワークショップすんぷちょ、アイジー工業(株)、朝日山荘厳院 稱名寺、(福) ありのまま舎、石田秀男税理士事務所、イノベーション・デザイン&テクノロジーズ(株)、(特非) エイブル・アート・ジャパン、Epic View、大條家ゆかりの茶室の保存と活用を願う会、合戦原区、(株) 河北新報社、木村工事(株)、劇団短距離男道ミサイル、クリニカルアートやまがた、(株) ごえん、こげら合唱団、(株) G R A、(特非) G R A、(株) ジェーシービー、(特非) 市民社会創造ファンド、(福) 祥心会、鷲峰企画、新地町、(有) 鈴や、(株) 住まい工房アイム、住友商事(株)、(株) スルーエイジ、全国保険医団体連合会、(有) 仙台クリンネスサービス、仙南ベニヤ(株)、(株) 仙台放送、(医) 多布施クリニック、(一財) たんぽぽの家、大和証券フェニックスジャパン・プログラム、伊達ルネッサンス塾、(公財) 地域創造基金さなぶり、認定NPO法人地星社、ドイツ語婦人会、東京日本橋ライオンズクラブ、(公社) 東北障がい者芸術支援機構、東北リサーチとアートセンター[TRAC]、(株) 和莓、(株) ナルケ自動車、(特非) 日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」、(特非) 日本NPOセンター、日本たばこ産業(株)、バーCozy、花の店しなほり、(公社) 日本フィランソロピー協会、PMJ 歯科、(特非) 100年福祉会 片山工房、ファイザー(株)、(独) 福祉医療機構、(株) 福祉新聞社、(一社) ふらっと一ほく、フレスコ(株)、社会保険労務士法人プロゲート、(福) 房香会、(特非) ほほえみの会、ポップサーカス仙台公演事務局、(一社) まなびの森、御 園、三菱重工グループ、みやぎNPOプラザ、(福) 宮城県社会福祉協議会、みやぎ心のケアセンター、みやぎ臨床美術学会、(特非) 麦の会こっぺ、麺とごはんの店見晴、モナッシュ大学、八重垣神社、(有) 安田工務店、(福) やまなみ会やまなみ工房、山元町、山元町教育委員会、山元町社会福祉協議会、山元町ふるさと歴史学習会、山元町文化協会、山元町歴史民俗資料館、山元町立坂元中学校、山元町立山下中学校、やまもと民話の会、山元ライオンズクラブ、ゆかりの茶室にひかりをあてるっちゃGO 山元いっ茶組、(特非) 亘理いちごっこ、(特非) わたりグリーンベルトプロジェクト、ライオン運輸(株)、ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区、(株) 楽天野球団、楽天クリムゾンハウス、霊友会「ありがとうこだま基金」

ほか たくさんの方々から、あたたかいご支援とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

[組織概要]

設立年月日	2015 年 5 月 14 日
代表理事	田口 ひろみ
理 事	品堀 学 佐藤 路代
監 事	大山徳江
会員数	正 会 員 13 名 一般会員 100 名、13 団体 (2019 年 3 月 31 日現在)
住 所	〒989-2202 宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原 72 番地 64
Tel/FAX	0223-36-7410
MAIL	koguma@polaris-yamamoto.com
WEB	http://polaris-yamamoto.com